

細胞デザインとレギュラトリーサイエンスの融合

NAMs が拓く次世代医療技術の品質と安全

NAMs (New Approach Methodologies) :
(医薬品開発における動物実験に代わる) 新たな安全性評価方法

細胞デザインが生み出す次世代医療は、評価の「常識」をどう変えるのか？

世界潮流「NAMs」を核に、産官学の第一人者たちが次世代ルールの構築に挑みます。ゲノム編集技術や生体模倣システム(MPS)を駆使し、革新的な創薬シーズを社会へ実装する。次世代医療の安全性を主導する先生方と一緒に、当研究所の挑戦の最前線に迫ります。

2026 7.25

土

13:00~18:30

受付開始 12:30

オンライン配信あり (Zoomウェビナー)

会場

山口大学小串キャンパス
A棟1階オーデトリウム
(山口県宇部市南小串1-1-1)

定員

現地参加：先着100名
オンライン参加：先着300名

対象

どなたでも
(学生・企業・アカデミア・一般市民など)

参加費 無料

申込方法

二次元コードからお申込みいただけます。

●申込締切：2026年7月18日(土)

※定員に達し次第、申込締切前でも受付を終了します。

オンラインでの参加希望の方は、前日までに視聴可能URLをメールにてご案内します。



PROGRAM

- 13:00 | 開会挨拶 谷澤幸生 学長、玉田耕治 所長
- 13:10 | シンポジウムの趣旨と研究所の取り組み紹介
宮本達雄 先進ゲノム編集治療研究部門長
- 13:20 | 演題1
NAMsをめぐる国際動向
平林容子 国立医薬品食品衛生研究所
安全性生物試験研究センター長
- 13:50 | 演題2
医薬品領域におけるNAMs/Weight of Evidence (WoE) アプローチの利用促進に向けて
西村次平 独立行政法人医薬品医療機構総合機構
スペシャリスト (毒性担当)
- 14:20 | 演題3
NAMsに対する製薬会社の対応とアカデミアへの期待
鈴木睦 日本製薬工業協会医薬品評価委員会
基礎研究部会 部会長
- 15:00 | 演題4
MPS実用化に向けた産官学連携の動向
山崎大樹 国立医薬品食品衛生研究所
安全性生物試験研究センター薬理部第二室長
- 15:30 | 演題5
新規モダリティ時代におけるレギュラトリーサイエンス研究 - アカデミアの役割と将来展望
嶋本頭 山陽小野田市立山口東京理科大学
薬学研究科 教授
- 16:00 | 演題6
AMEDが推進するレギュラトリーサイエンス事業 - NAMsを含む評価基盤の高度化に向けて
津田雅貴 AMED創薬事業部レギュラトリーサイエンス課長
- 16:40 | 基調講演
アカデミアから見た生体模倣システム (MPS) 開発の現状とこれから
横川隆司 京都大学大学院工学研究科
マイクロエンジニアリング専攻 教授
- 17:40 | パネルディスカッション
細胞デザインとRSとの融合による次世代医療の開拓に向けて
- 18:20 | 閉会挨拶 佐藤晃一 理事・副学長 (学術研究・産学連携担当)

【主催】

山口大学、山口大学細胞デザイン医科学研究所

【後援】

山口県(調整中)、宇部市(調整中)、山口東京理科大学、
日本組織培養学会、日本動物実験代替法学会

【プログラム委員会】

山口大学細胞デザイン医科学研究所
玉田 耕治 宮本 達雄 弘澤 萌
山陽小野田市立山口東京理科大学
嶋本 頭 小島 肇